

第109号

2012年2月1日

発行 社会福祉法人 大阪福祉事業財団
高槻四施設・ふれあい編集委員会
大阪府高槻市塚原1丁目9番1号

高槻温心寮 槻ノ木荘
ひむろこだま保育園 三島の郷

福祉相談

◎保育・子育て
ひむろこだま保育園 (695) 1516
◎おとしより
槻ノ木荘 (694) 0716
◎障害者・生活保護
高槻温心寮 (696) 5922
◎障害者
三島の郷 (688) 0768
お気軽にご相談ください
月～金 (10時～16時)

ふれあい



国・自治体の責任ですべての子どもによりよい保育を…

子ども・子育て新システムに反対！

政府は今、「子ども・子育て新システム」と称する保育制度「改革」を検討していることをご存知でしょうか？この「新システム」とは、民主党政権が打ち出した新たな保育・子育て制度案です。国は、早ければ2011年に児童福祉法を改正し、早ければ2013年から「新たな保育制度」を導入しようとしています。

保育の責任はだれにある？

「新システム」の最大の問題は、児童福祉法24条に規定されている、市町村が直接保育を提供する責任（保育実施責任）をなくすることです。現行制度は、保育にかかわる諸問題については、保育所や保護者任せにする

ことなく、市町村が保育の実施主体として最終的な責任を負っています。これが保護者の安心と保育所運営の安定につながっています。ところが「新たな保育制度」では、市町村の責任が大き

く後退するため、保育所と保護者に多くの負担を押しつけることとなります。保育・子育ての分野を新たな産業として位置づけ、福祉としての保育を産業化し、

お金で売り買いする商品に変える、経済効率を優先することが新システムの仕組

みです。そのために介護の分野と同様に多様な事業者の参入を図り現行保育制度を解体しようとしているのです。

子ども・子育て新システムに反対！

新システムは子どもたちの育ちに格差と差別を生み出し、保育も子育て支援もお金次第になつてしまします。子どもは次の社会の担い手です。私たちはいま、子どもたちの健やかな成長発達を守るため、署名活動や学習会に取り組んでいます。

めざすものは、国と自治体が責任を負う現行保育制度を基礎に、十分な予算をつけて保育条件を改善し、子ども達の育ちにとって最善の制度にすることです。
(ひむろこだま保育園 川口)

雨のち晴

ことしは、様々な立場、職業の人々が、東日本大震災に思いを寄せて年明けを迎えたのではないのでしょうか。知人の年賀状には、「年末年始は被災地、仮設住宅で福祉部の学生たちとともにカウントダウンでした。」また

遠野で研修を終えた別の友人は、「被災地を歩き津波の凄さを改めて感じました。瓦礫の中のハンガーや洗濯機に、それまでの日常を思い、胸が痛くなりました。政治が届いていないことの実感も。」とありました。壊滅状態の東北地方は、9ヶ月余り経過しても、復興どころか復旧も手つかずのところも多いと聞きます。広がる貧困へ立ち向かい、人のつながりを結びなおす活動にとりくみながら、政治の責任も問うていかなければと思う新年です。
(丸野ちづる)

高槻温心寮の役割のうつりかわり 地域のみなさんとのかわりを通じて

中学生が高槻温心寮で 体験してみて

近年、中学校では授業の一環として「福祉体験学習」が行われています。高槻温心寮にも、毎年市内の中学校から、多くの1、2年生の皆さんが来られます。

高槻温心寮に来られる中学生の皆さんは、そのほとんどの皆さんが施設に来るまで障害者の方と接したことはありません。高槻温心寮で暮らしている利用者の方の大多数は精神障害者の方たちです。残念ながら、精神障害者の方たちは、一般的には何をするのかわからない、怖いといったイメージを持たれることが多いのが現状です。ですが、体験学習後に中学生の皆さんに利用者さんに対しての感想を聞くと、すべての方が「特に何か違いは感じなかった」「別に普通なおじさんやおばさんだった」などと答えています。また、利用者

さんの中には大きな声を出す知的障害の方もおられ、初めて接した人は必ずびっくりされますが、しばらく接していて、大きな声を上げる理由がうれしいから、自分と遊んで欲しいことをアピールしているからなどの親愛的な感情からのものだとかわかってくれば、それからはびつくりしなくなつたと答えていました。

以前の入所施設に 求められていた役割では

40年ほど前までは、施設で生活する人は、障害や高齢などを理由として地域で暮らすことが難しくなつた人たちでした。これらの人々を施設に隔離して生活してもらうことが主な支援の考え方でした。その理由は、日本の社会自体に余裕がなく、効率的に経済を発展させることを優先したためです。社会的に弱い立場の人たちにとってはあまり幸せな時代ではなかったと言えます。

いまの入所施設に 求められている支援の ひろがり

いま高槻温心寮で生活している人たちは、病気や障害、その他のなんらかの理由により、地域での生活が維持できなくなつたため、安全安心な生活、より生きがいのある生活を送るために、当面、地域で暮らすことよりも施設で生活することを選んだ人々です。

また、全国では精神科病院に入院されている精神障害者の方で、退院できるほど回復されているにもかかわらず、受け入れ先がないなどの理由で退院できない方が6万人もおられます。そういった方の受け入れ先としての役割も高槻温心寮は担っています。

これらの方たちも、いったん入所して生活をされているうちに、



高槻温心寮 地域福祉部 中村拓也



その人自身の身体の状態が良くなつてくる場合があります。さらに、近年ではヘルパー制度や訪問看護などの在宅支援制度が充実してきました。そういったこともあり、施設から再度、地域生活に戻れる方が増えてきました。

高槻温心寮でも、地域で暮らす希望をもっている人たちの願いを叶えるため、地域での生活を応援する事業を展開しています。今では高槻温心寮で地域での暮らしをするための練習をしたいからという理由で入所を希望する方も増えてきています。

このように、入所施設に求められる役割も、施設の中で暮らす人々への支援だけでなく、地域で暮らす人たちの支えになるものも行うものへと広がってきています。

どんな人にも生きている 実感

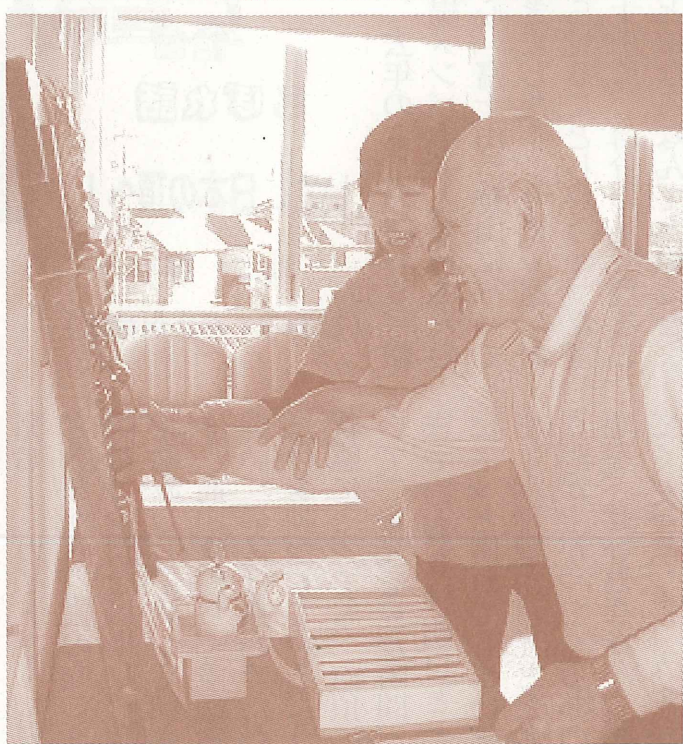
高槻温心寮では30年以上前から、施設利用者の方たちを施設内だけで生活してもらうのではなく、地域社会にも関わってもらう

これらのことから、高槻温心寮は地域の人たちに施設をどんどん使っていただくように取り組んでいます。生きがいのためにボランティア活動をしてもらうこと、ほっとホールをはじめとした設備を利用してもらうこと、実習などで学生や社会人の方たちの学習の場として利用してもらうことや、ふれあいひろばなどのイベントを通じて、施設を地域全体のものとして利用していただきたいと考えています。

こうして皆さんに障害者の方と接する機会を作ること、施設に来た中学生の皆さんがそうであつたように、「障害者って怖いじゃない」「普通のおじさん、おばさんだよ」と感じていただきたと考えています。



病院を退院して地域で暮らすことができるのに、受け入れ先がないために、その願いが叶わない精神障害者の方たちが、全国にはまだまだ多くいらっしゃいます。私たちは、高槻温心寮でのこれらの取り組みの積み重ねが、世間の障害者への偏見を減らすことになり、精神障害者の方たちの願いを叶える手助けになると信じて、これからも支援をしていきます。



ワンショット



槻ノ木神社出現

槻ノ木荘

槻ノ木神社出現！突然槻ノ木荘内に神社が現れました。荘内安全、無事息災ほか霊驗あらたかな神様でみなさん初詣をしました。鈴を鳴らしお賽銭を入れ、絵馬に願いことを書きました。今年はきっと良い年になりそうです。



いざ、日本の頂へ!

湯口 修平

(ひむろこだま保育園)

去年の9月の終わり、職場メンバー4人で日本人の心「富士山」登山に行ってきました! 今まで遠くから見るのしかなかった富士山に、自分の足で登ることになるなんてと思うと、期待と不安が入り混じった不思議な感覚でした。バス

に揺られ五合目からの登山開始! ガイドさんに先導されながら、雲の向こうに隠れる山頂を目指し一歩一歩踏みしめて登っていきます。高山病からくる頭痛と闘い、最後は無心でただ足だけを動かしているような状態に……。でも、山頂についてこ来光を見た瞬間、今までの疲れは朝日とともにスッと晴れてしまいましたが! 水平線から光とともに太陽が上がってくるあの瞬間を、ぜひみなさんも感じてください! 人生が変わる、そんな気がしますよー!

ご存知ですか?

猫カフェ



阪急高槻市駅そばに可愛い猫ちゃんたちと触れ合えて癒されることのできる猫カフェがあります。お店の名前は「ねこの部屋 あまえんぼう」です。猫カフェ(猫喫茶)とは猫と同じ空間でくつろいだり、ふれ合うことが出来るカフェです。猫たちはおうちのような空間で自由気ままに生活していて、お客様はそのおうちへ遊び行くという感覚で来店します。店内ではお茶を飲みながら猫にさわったり、猫じゃらしで遊んでみたり、写真を撮ってみたり、膝の上に乗せて読書してみたり、猫同士じゃれる姿をながめたりと思いいにすごせます。一度お出かけになってはいいかかでしょうか?

高槻市北園町19-16 タムラビルII 3階

072-683-7252

<http://nekonohaya-amaenbou.com/>

Q & A

どんな時
救急車?

Q 急な病気やけが等、救急車を呼んだらいいのか、どうするべきか分からない時があります。どうしたらいいですか?

A 突然の病気やけがなどで、どうしたらいいか判断に困った時は#7119に電話して

ください。「救急安心センター」におおさか」に繋がり、365日24時間、医師、看護師が医学的な見地から助言を行い、緊急性・必要性があれば救急車を出動させます。また、緊急ではないが受診が必要な時は近隣の病院の案内(受診する場合)は医療機関に要確認)、受診するほどでもないときは応急手当の仕方などを教えてもらうことができます。

なお、緊急時には迷わず119番し、救急車を呼んでください。

告知板



高槻温心寮

■ボランティア

交流会 3月3

日(土) 14時半

から

■かくし芸大会 3月22日(木) 14時から

編集後記

白浜アドベンチャーワールドの最高齢の雌イルカが人気を呼んでいるようです。人間でいうと80〜90歳ぐらいなのに、一番高く元氣いっぱいにはジャンプをしているのが人気の理由。人も負けてはいられません。わたしたちもいつまでも元氣で過ごすことができればいいですね。(金城)

